

第66回

【テーマ別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成28年11月9日

○会 場 武蔵野商工会館

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そして屋外において実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

今回は、成蹊大学の学生ボランティア本部「U n i .」の皆さんにご協力いただき、「10年後に住んでよかったと思える武蔵野市・吉祥寺を考える」をテーマに、「第66回市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、様々なかたちで、皆様との意見交換を行い、市民が主役のまちづくりを進めてまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成28年11月9日（水）
午後7時～9時
2. 場 所 武蔵野商工会館 5階 第1・第2合同会議室
3. 協 力 成蹊大学学生ボランティア本部 U n i .
4. 参加者数 参加者 11人
傍聴者 2人
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
6. 司 会 成蹊大学学生 寺島 翔太郎

市民部市民活動担当部長 秋山 真弘
7. テ ー マ 『10年後に住んでよかったと思える武蔵野市・吉祥寺を考える』

目 次

1. 発言の要旨	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 「10年後に住んでよかったと思える武蔵野市・吉祥寺を考える」をテーマに した意見交換（要旨）	2
(3) 閉会のあいさつ	14
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	15
3. アンケートでいただいた感想	18

— 付属資料 —

第66回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

（1）開会のあいさつ

【市長】

皆さん、こんばんは。寒くなりましたね。私は寒いのが苦手なので、大変つらい日々がこれからやってくるなと思っています。

今日は、トランプさんが大統領選挙に勝利したという大きなニュースがありました。大変興味のあるところでもあり、心配な面もあります。ぜひ皆さんにも注目していただきたいし、アメリカとの友好関係は大切なことですが、それ以前に、日本がどういう国であるのか一人ひとり考えないといけないと思っています。

今日は、世界という大きな問題ではないけれども、地域のさまざまな問題を、皆さんが感じ取ったことを踏まえて、10年後に住んでよかったと思えるような武蔵野や吉祥寺にするにはどうしたらいいのかということ、ぜひご提案いただきたいと思っています。

私は市長になって11年ですが、当時と比べて、住んでよかったと思っている市民が、果たしてどれくらい増えたのか気になるところであります。

私の原点は市民の声を聞いていくことですので、タウンミーティングも、もう今回で66回開催させていただいています。多いときには100人規模で地域の課題を意見交換することもありましたので、延参加人数は4千数百人となっています。皆さんのような学生さんとやるのも今日で6回目です。タウンミーティングで、直接、多くの市民の皆さんから意見を聞くということを大切にしておりますので、今日も何でも構いませんので、ぜひご意見をいただきたいと思っています。



(2)「10年後に住んでよかったと思える武蔵野市・吉祥寺を考える」をテーマにした意見交換(要旨)

【市長】

まず、武蔵野市・吉祥寺の現状からお話しします。

吉祥寺の歴史ですが、玉川上水が江戸町民のための用水として、1653年にこの多摩地域に開削されて以降、野原だったところがどんどん開拓され、10年後ぐらいに吉祥寺村が誕生しました。本家の吉祥寺というお寺は、今、文京区の駒込というところにありますが、そのお寺周辺の人々が大火事で焼け出され、この地域に移住してきたというのが吉祥寺村の発祥です。

さて、吉祥寺が、農村から住宅地が変わっていくきっかけになったのは鉄道です。甲武鉄道、今でいう中央線が1889年、明治22年に開通しました。当初あった駅は、新宿、中野、境、国分寺、立川です。吉祥寺はありませんでした。吉祥寺駅ができたのは武蔵境の10年後です。

その後、人口が増えるきっかけとなったのは、関東大震災です。吉祥寺村は、明治22年には武蔵野村になっていますが、大きな被害がありませんでしたので、非常に安全なところだということで、東京都内の方がこちらに移住し始め、5,000人程度だった人口が、震災の1年後には1万人ぐらいに増えています。

その後、武蔵野村は町になり太平洋戦争で大きな空襲を受けることになります。中島飛行機武蔵製作所というゼロ戦のエンジンをつくる軍需工場があって、昭和19年11月24日に初空襲を受けました。その11月24日が武蔵野市平和の日になっているわけです。戦後は、その空襲を受けたところから住宅地としてまたまた発展をすることになります。

昭和40年代に吉祥寺駅周辺の再開発で、東急百貨店、伊勢丹、近鉄百貨店などの大規模な店舗が進出して商店街とコラボし、新たな繁華街として発展することになります。同時に、さまざまな文化も自然発生的に生まれてきて、例えばライブハウスもそのころから徐々にでき始め、アニメの作家も住み着きアニメ文化が生まれます。そんな形で吉祥寺は発展してきました。

「住みたい街」ナンバーワンと言われたのがちょうど10年前ぐらいで、ずっと1位を維持してきました。ところが2位になると、落ちたことが話題になって、「陥落した吉祥寺」などと言われましたが、それでも、常に上位にランクされています。しかしながら、それに安住することなく、未来を見据えたまちづくりがもっと必要だと思っています。幸いにも、武蔵野というイメージのいい名前のある都市と、それから吉祥寺という全国区クラスの繁華街という2つの看板を持ち備えていますので、その看板に恥じないようなまちづくりをぜひ皆さんと一緒にしていきたいと思っています。

もう一つ伝えたいのは、武蔵野というのは実は夜間より昼間の人口のほうが多いということです。昼夜間人口比率は110%です。私は、市民というのは必ずしも住んでいる人だけではなくて、学生の皆さんも働きに来ている人も含めて、関わりある人はみんな武蔵野市民と考えておりますので、そういう関係する全ての方と一緒に、魅力的なまちづくりをしていきたいと思っています。今日は昼間市民の代表として、皆さんからぜひいろいろな意見をいただきたいと思っています。

【司会（寺島）】

司会進行を務めさせていただきます、成蹊大学文学部2年の寺島翔太郎です。よろしくお願いします。

早速、グループワークの説明に移ります。時間は30分です。テーマは2つあります。1つ目が、10年後、こんなまちだったら、こんなことが実現していたら住みたいなと思えるまちのイメージを自由に考えて書いてください。案が幾つか出た中で実現が可能なものをまとめてください。2つ目に、その実現が可能なものを本当に実現させるために、自分たちは何ができるだろうかということも考えてください。グループワークに当たっては、進行役と発表者を決めてください。



<グループワーク>

グループごとに、各自の意見を付箋紙に書き、議論しながら模造紙上に種類別に分類した。

(グループ1、グループ2とも同作業)

【司会】

それでは発表に移ります。発表時間は3分から5分程度でお願いします。順番は番号順にグループ1、グループ2です。グループワークで意見を書き入れた模造紙を前方のホワイトボードに貼って発表をお願いします。

発表の後、皆さんや市長から質問があったら、そのグループの誰かが答えるという形で進めていこうと思います

それではグループ1からお願いします。

【大学生】

私たちの班の話し合いは、まず、みんなで意見を出し合って、それをカテゴライズしました。その結果、<災害>、<福祉>、<安全>、<地域>、<自然>、<国際>の6つに整理しました。

まず<災害>についてですが、吉祥寺は住宅街で家が多いので、首都直下型地震が起きたときのために、避難場所や避難経路がちゃんと確保されているまちということ、10年後住むときに、みんな視野に入れるのではないかと考えました。

<福祉>については、今、吉祥寺に住んでいる人は四、五十代がメインで、10年後になると高齢者もより増加するということになりますし、高齢者に優しい介護施設があったり、高齢者にとってありがたい、住みやすいまちになればいいということ、また、高齢者が増えるということは、子どもの存在がより重要化するということなので、子育てもしやすいまちになったらいいという意見が出ました。

<安全>については、歩道を走っている自転車が目立つということと、歩きスマホの人も多くて、ぶつかりそうになることが多いので、自転車と歩行者の分離ができればいいという意見がみ

んなから出ました。

そして、＜地域＞ですが、吉祥寺はまちが結構入り組んでいて、どの場所にどのお店があるかが把握しづらいという意見があり、わかりやすいまち案内とか、立て看板がもっと増えればいいなという意見が多数ありました。

＜自然＞については、十分に自然がある井の頭公園と、ほかの場所との差が大きいので、全体に桜並木などが多くある、そういうまちがいいなという意見でまとまりました。



【市長】

＜災害＞というのはやっぱり怖いですね。今年になっても熊本や鳥取で大きな地震があって、30年以内に震度7の首都直下型地震が起きると言われていますけれども、起きて当然と考えていろいろな備えをしなければいけないと思っています。

市は、市民の安全を守るとというのが最大の使命ですので、これまでいろいろな安全対策をしてきました。先日も、総合防災訓練を行いました。年間を通じていろいろな訓練を重ねていくことも必要です。それから、やはりまち全体が安全でないといけませんので、現在、一番重視しているのは建物の耐震化です。耐震化率というのが、残念ながら、今、80数%どまりなので、これをなるべく早い時期に90%を超えて100%に近づけたいと思っています。それと同時に、建物が丈夫でも、家具による被害を受けたという例は結構多いので、ぜひ家具転倒防止金具を取り付けて、揺れても倒れないように備えていただきたいと思っています。そういう形で、まちや家の中も安全にということ、今、第一に行っております。その意味では、武蔵野は、災害に強いまちに近づいていると思いますが、これはやはり皆さんの日々の避難訓練や、いろいろな自助、共助、公助の取り組みが重ならなるとなかなか完璧に安全なまちになっていかないと思っています。

＜安全＞は多くの意見は自転車のことかな。武蔵野は、真っ平らで、極めて自転車で走りやすい地形なんです。実は、東京都の駅で一番自転車の乗り入れ数が多い駅は三鷹駅です。吉祥寺駅は3番目、武蔵境駅は9番目なので、非常に多くの自転車が利用されているまちなんです。この3駅で駐輪場を約3万台分用意しています。通勤通学の方にはある程度充足しているけれども、今、課題は、昼間買い物に来られる方がなかなか駐輪できる場所がないということです。通勤通学者用の駐輪場所でも、空いていれば2時間無料でとめることができるとか、柔軟な対応をして、なるべく昼間の利用者のための駐輪場を増やす努力をしています。

ただ、鉄道を利用する人のための駐輪場だったら、本来なら鉄道事業者がつからないといけないと思うのですが、鉄道事業者はあまり駐輪場をつくることに積極的ではないです。法律的には義務化されていなくて努力義務程度なんです。国土交通省にいろいろ要望は出していますが、なかなか認められない状況です。

では、買い物に来られる方の駐輪場は誰が整備すればいいでしょう？ そのお店の前に駐輪場があれば便利です。だからお店の方が駐輪場を設ければいいんだけど、なかなかそれはでき

ないですね。今、商店街単位で商店街の入り口に共同の駐輪場をつくるのであれば、市も積極的に支援しますと呼びかけていますが、場所がなかなか見つからないのが課題です。

かつては駅前のいろいろなところで、歩道の半分を自転車の置き場として利用していたのですが、駐輪場ができたので、今では歩道は歩行者のために利用できる状況になっています。ちょうど20年ぐらい前、皆さんが生まれた頃、吉祥寺というのは、全国一放置自転車が多いまちでした。その反省もあって、積極的に駐輪場を整備してきたので、今では放置自転車の数のランキングは、100位以下になっていますね。市はそういう努力をしてきました。

自転車で走りにくいという指摘もいただきました。ある程度の道幅がなければ自転車の専用レーンはつくれないのですが、実は、武蔵野の道はあまり広くないのです。東京都の道ではありませんけれども、市内を通る調布保谷線という大変幅の広い道が完成しています。そういうところには自転車専用のレーンができています。それから、三鷹駅の北口に、三鷹駅から文化会館に行く文化会館通りという道があって、そこは一方通行だけど、その車道の片側に自転車誘導レーンを設置しています。専用レーンではないけれども、道幅が狭い場合はこのような工夫もしていきたいと思っています。

一方で、暴走自転車が課題となっています。歩行者が歩いていて、その脇を猛スピードで抜けていく自転車があって、ひやっとするという方も結構います。市内の交通事故件数の半分は自転車がかかわっているので、自転車に乗る方にもっとマナーやルールを守ってもらうため、武蔵野市独自で自転車安全講習会を全市民向けに行っています。もう6年～7年ぐらい続けていて3万人以上の方に受講いただいています。自転車が環境に優しい乗り物であることは間違いないので、もっと安全で利用しやすいまちを目指していきたいと思っています。



文化会館通りの自転車誘導レーン

【司会】

ありがとうございました。

では、傍聴の方も含めて、今、市長のお話を聞いて何か質問や疑問点がある人はいらっしゃいますか。

【大学生】

先ほど駐輪場の整備について、商店街の方には支援するというお話がありましたが、鉄道会社の支援は考えていないのですか。

【市長】

ほとんど市が整備し終えているし、かつ鉄道会社が整備することはなかなかないけれど、例えばアトレは整備するところがあったので、それは支援をしました。鉄道会社には支援するよりつくってもらうということをぜひ実現したいと思います。ただ、例えば武蔵境駅の高架下を提供してもらっているように、場所を提供してもらってそこを利用するというような、余裕スペースの

利用をこれから進めていきたいと思っています。

次は<福祉>の問題ですね。高齢者人口が増えていくというのは全国的な傾向です。高齢者と言われる65歳以上の人口割合は、武蔵野市は今22%ぐらい、全国平均は26%ぐらいなので、4人に1人は高齢者です。やがて20年後、30年後ぐらいには30%を超えると予測されています。

したがって、武蔵野市でもバリアフリーのまちづくりを進めています。公共施設や駅にも、エレベーター、エスカレーターができました。井の頭線のホームドアが設置されましたが、それも武蔵野市で補助を出して京王電鉄につくってもらいました。



それから、武蔵野市の特徴として、高齢者の福祉というのは他都市に比べて極めて充実しています。他市からいろいろな視察があるぐらいですし、武蔵野市の代名詞となっています。それをいかに持続させるかということは大いに重要ですが、一方で、高齢者だけでなく、若い人にももっと入ってきてもらいたい。若い人に暮らしてもらえるようにするには、意見として挙げていただいた子育てがしやすい

まちということは重要だと思っています、私の政策の大きな柱の一つになっています。

残念なことに、武蔵野でも保育園に入れない待機児問題はなかなか解消できていません。人口が全国的には減少時代を迎えている中、武蔵野の人口は若干増えてきていて、同時に赤ちゃんの数も増えています。市の人口ピラミッドを見ると、20代以上は膨らんでいて、20歳以下はちょっとしぼんでいるんだけど、赤ちゃんの世代、まだ学校には行かない世代が末広がりが増えてきたんですね。小学校1・2年ぐらいは1,000人ぐらいなんですけど、その後の年代はだんだん増えて、昨年1年間に生まれた赤ちゃんは1,300人を超えたんです。赤ちゃんの数が増えているというのは非常にいいのですが、その分、保育園をつくってもつくっても足りない状況です。この10年間で定員を1,000人以上増やしてきたけれども、これからももっともつづらなければいけないと思っています。今後2年間で待機児ゼロを実現しようと、それに見合う保育園の定員、大体500人分ぐらいは確保しないといけないと思っています、今、努力をしているところであります。

【大学生】

小池都知事が政策として空き家の保育園としての利用というのを掲げていたと思いますが、武蔵野市としても空き家の利用は考えていらっしゃるのでしょうか。

【市長】

空き家というか、例えば緑町や桜堤のURの団地がありますが、そういう団地の空いているところの一部を借りてグループ保育という事業をやっております。実は、一般の住宅というのは利用しづらいのです。赤ちゃん専用で保育をするということになると、改修工事が必要だし、必ず相応の耐震性がないと利用できません。往々にしてそういう空き家というのは、昔建ったものなので耐震化が難しく、かなり手を加えないと利用できないためなかなか難しい問題があると思っています。武蔵野でも空き家率というのは結構高くて、10数%の空き家があると言われています。

空き家活用をもっと積極的に進めていきたいと思っています。

【市長】

<国際(観光)>についてですが、かつては自然発生的に多くの方に来ていただいて、テレビのロケなどをしてもらったりしていましたが、今は都市観光ということをもっとクローズアップしていこうということで、観光機構という組織ができています。そこをもとに、例えばフィルムコミッションという組織をつくって、テレビや映画のロケ地を積極的に紹介していこうという取り組みをした結果、この数年で極めて多くのロケに使っていただいています。

それから、お店などの場所がわかりにくいという意見は常日頃から受けています。特にこれからは、外国人対応の案内誘導サインも必要ではないかなということで整備を始めています。駅をおりたところにある総合案内板は日本語、英語、中国語、韓国語の4カ国語の表記になっています。また、この地域にはW i - F iをつけてもらっていますが、これも基本的には外国人対応で、利用可能な言語は英語と、中国語、韓国語、それから何とタイ語なんです。タイという国は、東京都では、観光客が4番目に多い国らしいです。そういうことからタイ語も対応できるようなW i - F iの環境を整え、利用も増えてきました。ネット環境をもっともっと充実していこうと思っています。



総合案内板

それから、皆さんには、ぜひ、日頃から英会話をもう少し使ってもらって、まちで外国人を見かけたら声をかけて、案内をしていただければありがたいと思います。吉祥寺をウエルカムなまち、おもてなしのまちにできたらと思っています。

2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、市でも積極的にいろいろなことを考えています。武蔵野はいろいろな国と交流していますが、内閣府の認定を受けて、ルーマニアを相手国とするホストタウンになりました。そこで、この春の桜まつりにルーマニア大使に来てもらったり、8月には東急百貨店でルーマニア・フェアをやりました。来年は市制70周年、井の頭公園100周年ということもあるので、何かイベントを、中でも文化の香りの漂う何かということで、検討を始めているのが、ルーマニアのブラシヨフ交響楽団を呼んでの市内での公演です。そういう形でルーマニアとの関係というのは一つの基軸になっております。

【大学生】

ちょっと基礎的な質問で申しわけないですけど、テレビの取材が来たら、土地使用料などのお金ってもらえるんですか。

【市長】

いろいろ手続に煩雑な面があるので、観光機構ではそういう手続代的なものは若干いただいていると思います。その他、基本的に公共施設というのは無償です。それを上回るPR効果がある

と思っています。いつだったか市役所を、それも市長室を使ってもらって、後で「協力・武蔵野市」とクレジットが出てきたので、それはPRできたのではと思っています。

【市長】

<自然>については、緑のことをおっしゃっていると思いますが、武蔵野ではあまり緑がないので、一生懸命人工的に増やしていこうとしています。成蹊は緑豊かですけど、かつては何もなかった野原にいろいろ街路樹を植えて、周辺の住宅地にも木を植えてもらって、そこが今、緑豊かな住宅地になっています。だから、つくられた緑ですけども、それが何年にもわたって育てられてきた、先人が大切に守ってきた緑だから、受け継いで守り育てていこうとしています。まだまだ足りていないなと思っていますし、もっともっと増やしていきたいと思っています。

【司会】

ありがとうございます。では、続いてグループ2の発表に移りたいと思います。

【大学生】

僕たち2班もグループで出た案をカテゴリ化したのですが、1班とは違う観点でまとめました。10年後に住んでよかった吉祥寺・武蔵野市を考えるということで、<現在のいいところ>をさらに伸ばすという観点と、<こうだったらいいのに>という観点と、<現在の改善点を改善すれば>いいまちになるんじゃないかなという観点でカテゴリ化しました。

最初に、<現在のいいところ>としては、喫煙所が減ってきていることとか、ごみが少ないこと、あと、苦情への対応がいいという意見には、具体的に、2、3日で対応してくれたということがエピソードとして出ていました。あと、公園が多いこと、お年寄りへのサービスもいいという意見もありました。そういったサービスは、市の財政が豊かなことがその基盤にあると思います。これらが<現在のいいところ>で、それをもっと活かしていけば、10年後も住んでいいまちになるんじゃないかなと考えました。

【市長】

いいところを伸ばして活かしていくということね。



【大学生】

2つ目に、<こうだったらいいのに>ということですが、10年後を考えると、最新の科学技術に強いまちだったらとか、市内にもう少し公園や緑を増やしてほしいという意見や、イベントなどで地域の方とほかの人々が交わる機会があったらいいなという意見、お年寄りや障害を持つ方々に気配りができるまち、あと、先ほどありました自然がたくさんあったらとか、震災に強いまちだったらという意見もありました。

3つ目に、<現在の改善点を改善すれば>という意見です。先ほどもありました自転車の専用道路を増やすこと。あと、土・日は人が密集しているとか、自転車をとめる場所が少ない、道幅

がもう少し広がったらという意見をまとめて、交通に改善すべき点があると僕たちは考えました。以上です。

【市長】

まず、<改善すべき点>のほうから言うと、自転車の専用道路の話はさっき言ったとおりで、なかなかスペースがないので何か工夫が必要だなと思っています。人が多いというのは、課題でもあるけどいい点でもありますよね。ただ、安全が確保できなくなると、それは課題かなと思います。地元としては、人が少なくなるのはすごく寂しいことと思っているので、何とか多くの人に来続けていただけるようなことを考えなければと思っています。駐輪場の問題は先ほど言ったとおりです。

この付箋に書いてある「ごみ収集袋が高い」って何だろう。

【大学生】

武蔵野市に住んでいるんですけど、ごみ収集袋という発想が初めてで。まず、お金を払わなきゃいけないのが……。

【市長】

それは「ごみの有料化」ということなんです。その代金をごみ袋に替えているわけです。というのは、ごみの処理というのはすごくお金がかかることなんです。1人当たり年に2万円ぐらいかかってしまうので、いかにごみの処理費を少なくするかということと、それから、ごみを有料化することによってごみをなるべく少なくしようという思いがあり、ごみ発生抑制につながるだろうと始めたのですが、実際にそうになっています。ですから、ある程度の負担はしてもらおうということで有料袋にしています。ご協力いただきたいと思います。

<よいところ>として、喫煙所が減ってきていることは評価いただいているようですが、喫煙所がないという批判もいただきます。かつて吉祥寺にマナーポイントという煙草を吸えるところがありました。そこ以外は禁煙ということにしたのですが、マナーポイントでは多くの人から、煙がすごく漂ってしまって、かなりご批判をいただいたので、なかなか共存できないということで廃止しました。ただ、やっぱりたばこを吸う権利もあるんじゃないかということで、喫煙場所を何とか設けてくれという話もいただいています。人に迷惑をかけない喫煙場所、例えば建物内にインナー型の喫煙所があれば、ほかの人に迷惑をかけないのではないかなと思っていますが、なかなか設置する場所がありません。

それから、ごみが少ないという評価をいただきましたが、清掃会社も入れているし、市民ボランティアの活動も結構盛んなものですから、わりとごみがない、きれいなまちになっていると思います。地元の商店街の人朝になると一斉に清掃をされているので、そういう商店の方も地域をすごく大切にしてくれていると思っています。

それから、市が裕福と言っていたけれども、市全体の人口というのは14万人なので、全体の額というのは限られています。ただ、1人当たり使えるお金というのが、結構、他市に比べると多いんですね。なぜ多いかというと、住民の中に高額納税の方が結構いらっしゃるという

ことと、それからもう一つは、土地の評価額が高いので、固定資産税が安定的に入ってくることが理由として挙げられます。市の歳入の6割を占める市税が極めて安定的なものですから、景気にあまり大きく左右されません。だから、国から地方交付税をもらっていない不交付団体になっています。国からいろいろな補助をいただける事業も、自分たちでやらなければならない分だけ厳しい面もあります。ただ、その分、自治の精神があるということになります。

苦情の対応がよいということは評価いただいたようですが、一方で、なかなか改善されないという声もいただくので、それは反省しながら市民サービスの充実に努めているところです。

それから、<もっとこうだったら>ということで、伝統ある店を守るという意見があります。昔に比べるといわゆる個性ある個店がなくなってきています。例えばサンロードを歩いても、ほとんどが全国チェーン店になってきていますよね。昔はいろいろな老舗が、例えば桶屋さんとか、和菓子屋さんとかがありました。そういうユニークな個店がなくなりつつあるのは大変残念です。高いお金を出して店舗を借りてくれるチェーン店がいっぱいあるので、吉祥寺の皆さんは世代交代をする中で、みずから商売をすることから、持っていた建物を貸す貸しビル業になってきているんです。なかなか難しいことですが、個性的な店というのはもっともっと吉祥寺にあっていいなと思います。



家賃が安くなったら…というのはなかなか難しいですね。これは市がコントロールできない話なのです。家賃というのは、土地の評価額にある程度連動して設定されるものですから、やはり吉祥寺では他の地域に比べて高くなってきてしまっています。家賃問題は市としてはなかなか対応が難しい状況です。

それから、井の頭公園で、マルシェなど気軽にイベントができればということですが、このところ井の頭公園も、昔に比べて利用勝手がよくなってきたのではないかと思います。かつては何をやるのもだめだったのですが、数年前から届け出をすればパフォーマンスや、販売ができるようになっていきます。そういう緩やかな都市的な公園になりつつあると思っています。マルシェ、朝市であれば、ハモニカ横丁の朝市がありますので、ぜひ行ってみたいと思います。

客引きがないといいという意見ですが、客引きに遭って嫌な思いをされていますか？

【大学生】

結構あります。渋谷や新宿よりはひどくないんですけど、吉祥寺って、すごくいいイメージなので、客引きがなかったら、よりよいまちになるんじゃないかなと思います。

【市長】

確かに、吉祥寺では課題として挙げられていて、もっと厳しく規制できないかと言われていきます。もともとは客引きを防止しようという条例があって、ブルーキャップというパトロール隊が巡回していて、客引きを注意しています。そういう条例をもっと強化して客引きを完全に禁止で

きるかどうかですが、店の前で「いかがですか」という声掛けがいけないって言われると、それはいいのではないかと思ったりします。雰囲気壊さないとか、嫌な思いをしないような、そんな誘導ができたらと思っていますが、ちょっと検討していきたいと思っています。

吉祥寺中心部だけではなくて、外れたところにもスポットがあったらというのは、これはどういう意味でしょう？

【大学生】

今、吉祥寺って、すごく狭い範囲だけにお客さんや観光客が集まってしまって、ほかの南町や東町も、数は少ないですけど、結構いいお店があったりするので、そっちにもスポットが当たれば人混みになりにくいかなと思います。

【市長】

吉祥寺のまちのつくりとして特徴的なのは、駅前に大規模な店がそんなに集まっていないことです。東急にしろ、ヨドバシにしろ、ちょっと離れているところにできていて、その間に商店街があるという、大規模店と商店街が割とコラボできている地域なんです。その特徴を活かして、歩いて楽しい回遊できるようなまちづくりにしていこうと、吉祥寺の南北をつなぐような回遊ルートも考えています。

もう一つの問題は、そういう繁華街を抜けるとすぐ住宅地なので、住んでいる側はあまり多くの人に来てほしくないと思っていることなんです。住宅地の静かなたたずまいの中に、洒落たブティックとか、カフェとかがある分にはいいのかなと思いますが、大規模な集客施設を設けると、ちょっと住宅地とのマッチングができないと思っています。

【司会】

全体を通して何か提案とか、意見とか、質問はないでしょうか。

【大学生】

ここには挙がっていないんですけど、吉祥寺・武蔵野地域に人がよく集まってくるということは、休日に来るとよくわかるんですけども、地域の人のうちの親交というのがなくなってきているというのが課題だと思います。例えば、住宅集合地に住んでいても、隣の人やまちの人がどんなことをやっていて、こんなイベントがあつてということを全く知らないということが、よくNHKのニュースなどで取り上げられています。

僕が住んでいる青梅市や、よく行く奥多摩だと、高齢化が進んでいることが問題視されますが、それを見て町役場や市役所が、ヨガ教室とか、手話教室とかを開いて、まちの人を集めてサークル活動をして、そのついでに市のイベントを広報して人来てもらおうということをやっています。武蔵野では、地域の交流とか、そういうのに結構、市の職員の方が介入、介入というところちょっと強い言い方かもしれませんが、そういうことが具体的にあれば詳しく聞きたいです。

【市長】

簡単に言うと、吉祥寺は、集客力があり、いろいろな方が集まる地域なので、住んでいる人だけのコミュニティというより、そういう多くの人との関係性が強いまちだと思っています。

ただ、武蔵野市は、実は、町会とか自治会制度がそんなにないのです。市全体でもせいぜい2割ぐらいしかないので、コミュニティの形成が武蔵野の大きな課題の一つになっています。武蔵野市独自のコミュニティのつくり方が、この間積み重ねられてきて、コミュニティセンターを核としてコミュニティ形成を図っていこうというものです。なので、市内では16のコミュニティ協議会によってコミセンが運営されていますが、そこで、町会ほど密ではありませんが、コミュニティが構築されているところです。

それから、都市観光というのは、必ずしも外から人が来るということだけではなくて、そこで住んでいる人たちが自分たちのまちのことをよく知って楽しむというのが第一義的なことではないかと思っています。何かあの人たち楽しいことをしてそうだな、ということが多くの人を呼び寄せるんじゃないかということで、そういう武蔵野市の都市観光を進めていきたいと思っています。



八幡町コミュニティセンターの様子

武蔵野市民でも、例えば武蔵境のほうに住んでいる人が吉祥寺のことをよく知らなかったり、逆に、吉祥寺に住んでいる方が武蔵境のほうをよく知らなかったりということはあるので、まずは市のいろいろな宝物をみんなで探そうということで、いろいろなツアーも観光機構に設定してもらっています。自分たちの住むまちの宝を発見して、それが都市観光につながっていくと思っていますので、そのような取り組みをこれから進めていきたいと思っています。

【大学生】

福祉の話なんですけど、高齢者が増えるということは病気にかかる人が多いというわけで、病院の数が足りているのかなと考えます。

【市長】

病院というのは、市単位ではなく、東京都でエリア分けがあって、武蔵野は北多摩南部保健医療圏という圏域に属していますが、東京都が病院の数を調整しています。多摩府中保健所の管轄の中では、病院の数やベッド数は、基準を一応上回っている状況にあります。かつ武蔵野市だけに限っても、基準を若干上回っています。ただ、最近、病院が廃院になることもあるので、地域の方は不安ですよ。何とかベッド数を増やしてほしいと東京都にも言っていますが、基準はクリアしているので、そんなに危機的な状況ではないという判断なんです。

ただ、少なくとも今ある病院は守っていききたいと思っているので、病院の建て替えなども、市としていろいろな支援をしていかないといけないかなと思っています。病院は必要ですよ。

【司会】

ありがとうございました。

意見交換はここで終了とさせていただきます。ちょっと頼りない司会でしたが、皆さんの意見が少しでも市政に反映できたらなと思います。

(3) 閉会のあいさつ

【市長】

もう少し時間があると、意見交換がもっとできたかなと思いますが、皆さんからいただいた貴重な意見は、大いにこれからの市政の参考にさせていただきたいと思います。

皆さんもこれから社会人になりますが、その前に、学生として立派な地域社会の一員だと思っていますので、日ごろから自分たちが暮らす場所の周辺、あるいは活動する場所の周辺に注目していただいて、それをどのようにしたらもっとよくなるのかなということをぜひ考えていただきたい。そして、もしそれが武蔵野市の場所であれば、それをぜひ市のほうにご提案いただきたいなと思っています。皆さんの意見を積み重ねて、それを我々がいろいろ考えて解決していくことが、やはりいいまちにつながっていくと思いますので、冒頭に申し上げましたとおり、皆さんは貴重な市民の一員だと思っていますので、ぜひこれからもいろいろな意見を提案いただきたいと思っています。本日はありがとうございました。



2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

(※アンケートでいただいたご意見も含まれます。また、同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	防災	首都直下型地震の発生に備えて、避難場所や避難経路などが確保されているまちにして欲しい。	武蔵野市では市立の小・中学校18校及び都立高校2校の20校を避難所として指定しており、その全施設の耐震化が完了しています。また、避難経路の確保については、住宅の耐震化やブロック塀の改善に対する補助制度等を通して、更なる強化を図っています。公助だけではなく、市民の皆様の自助・共助の取組みの充実と合わせて、災害に強いまちづくりを行ってまいります。
2	高齢者	高齢者に優しい介護施設があるなど、高齢者にとって住みやすいまちが望ましい。	本市では、生涯住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、「まちぐるみの支え合いの仕組み」(地域包括ケアシステム)を構築し、市民の皆様を含めたすべての関係者が一体となった取り組みを進めています。また、平成29年6月には市内初となる保育所と介護予防拠点を併設した特別養護老人ホームを整備します。
3	子育て	今後高齢者が増えると子どもの存在がより重要化すると思うので、子育てがしやすいまちになって欲しい。 保育園として空き家を利用することは考えているか。	保育施設は、保育の質を担保するため、新耐震基準に適合することや二カ所二方向の避難路の確保、一人当たりの面積など施設が満たすべき細かな基準が定められています。空き家をはじめとした既存の物件については、必要な改修を施すことにより、施設の基準を満たすことができれば、十分に利用できると考えています。保育施設の整備を進める中で、選択肢の一つとして、引き続き検討してまいります。
4	交通マナー	歩道を走っている自転車や歩きスマホの歩行者が多くてぶつかりそうになるので、自転車と歩行者の分離ができればいい。 また、自転車専用道路があればいい。	市内には、歩行者と車両を分離できる構造の広幅員道路が少なく、幅員4.0m～6.0m程度の歩車共存の生活道路が多いため、自転車専用の道路整備は難しいのが現状です。自転車専用ではありませんが、文化会館通り(市道第16号線)において、自転車誘導レーンを設置した結果、約9割の自転車が車道左側を走行し、歩行者との分離が図られた事例があります。現在、武蔵野市自転車等総合計画に基づき、平成28年度末を目途に自転車が安全に利用できる環境をめざし、「自転車走行環境推進計画」の策定を進めています。引き続き、東京都並びに近隣区市・警視庁とも連携しながら、歩行者と車両が共存できるよう、自転車走行空間の整備を進めてまいります。
5	駐輪場	吉祥寺は駐輪場が少ない。	吉祥寺駅周辺では駐輪場の目標台数14,100台に対し、平成28年12月現在12,724台の収容台数を確保しています。密な土地利用がされている吉祥寺駅周辺では、駐輪場としての適地が少なく、新しい駐輪場用地確保が難しい中、これまで「吉祥寺大通り北」や「吉祥寺パーキングプラザ」など駐輪場の拡充に努めてきました。既存ストックの有効利用として、利用実態を把握しながら定期利用・一時利用のバランス調整や、短時間無料制度(2時間)・満空表示板の設置などの取り組みを進めています。また、大量の駐車需要が発生する施設の新築又は増築にあたっては、駐輪場の附置義務を設け指導しています。引き続き、駐輪場用地の確保に努めるとともに、より一層の既存駐輪場の有効活用を検討しながら、駐輪需要が想定される施設については指導を徹底してまいります。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
6	駐輪場	駐輪場整備について、商店街の方が駐輪場を整備する場合には支援をするということだが、鉄道会社が整備する場合は支援はしないのか。	<p>「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律」(＝自転車法)では、鉄道事業者の駐輪場設置は努力規定に留まっています。鉄道事業者は自転車需要を発生させる当事者であるとともに、公共交通を担う事業者として、自ら駐輪場の整備・運営や駐輪場用地の無償提供など、全国的組織(全国自転車問題自治体連絡協議会)を通じ市から要望・要請してきた経過がございます。</p> <p>引き続き、鉄道事業者へ駐輪場の設置要望や積極的な協力を働き掛けるとともに、民間事業者へは補助金等の支援を進め、駐輪場の確保に努めてまいります。</p>
7	緑化	自然(緑)の量が、十分にある井の頭公園とほかの場所との差が大きいので、市全体に桜並木などの木々が増えれば良い。もう少し公園や緑を増やして欲しい。	<p>本市は全国でも有数の人口密度の高い都市ですが、市内には玉川上水、千川上水などの水辺や都立井の頭恩賜公園、小金井公園、武蔵野中央公園、成蹊学園など軸となる緑の拠点があります。このようなまとまった緑に加え街路樹や市民の手で育まれている住宅の緑や樹木、農地などが暮らしに潤いを与え、緑豊かな都市を構成しています。</p> <p>一方で、相続や開発などに伴う農地の宅地化などにより緑の減少が加速しています。市では、昭和48年に制定した武蔵野市民緑の憲章に基づき、先人からの緑をまもり、そだて、次代に伝えるために市民みんなの財産として大切にしていきます。これからも、緑豊かな武蔵野市の実現に向け、緑の保全・創出に努めてまいります。</p>
8	観光	お店の場所が把握しづらいのでわかりやすい(外国人にも)、まち案内図や、立て看板がもっと増えれば良い。	<p>市では、平成24年4月策定の「武蔵野市公共サインガイドライン」に基づき、現在市域三駅に、計4基の駅前総合案内板を、歩行者の目につきやすく近づいて見ることができるよう場所に設置しています。今後も、駅から主要な施設まで連続性のある案内・誘導サインの整備を進めていきたいと考えています。</p> <p>また、多言語表記については、日本語、英語を基本としながら、駅前総合案内板では中国語、韓国語も加えた4カ国語で、凡例を併記しています。</p> <p>東京都の多言語対応協議会(平成26年設置)にて示されている基本方針にもあるように、需要、地域特性、視認性などを考慮し、必要に応じて、日本語、英語、中国語、韓国語、さらにはその他の言語も含めた表記を検討しながら整備していきたいと考えています。</p>
9	観光	武蔵野市にテレビの取材がきたら、土地使用料などの収入があるのか。	<p>「武蔵野市フィルムコミッション」がロケ地の手配や諸手続きの代行をした場合は、手数料をいただいています。市の施設は、通常有料で貸し出している施設を除き無料でお使いいただいています。</p> <p>この「武蔵野市フィルムコミッション」は、テレビや映画等で武蔵野市を取り上げてもらうことにより、番組や作品をご覧になった方が武蔵野市に興味を持ち、訪れていただくことを主な目的としています。</p>
10	観光	吉祥寺は土・日の人が多すぎる。すごく狭い範囲だけ買い物客や観光客が集まってしまう。南町や東町にもスポットがあたれば良い。	<p>休日は市外から吉祥寺へ来られる方が多いため、駅周辺が混雑している状況です。</p> <p>吉祥寺の魅力は「まちの回遊性の高さ」にあると言われていています。多くの方にまち歩きを楽しんでいただけるよう、引き続き観光機構と連携しながら都市観光を推進していきます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
11	ごみ出し	ごみ収集袋の値段が高い。そもそもお金を払うという発想がわからない。	排出されたごみを処理するには費用がかかるため、その費用の一部を、実際に排出する市民の皆様及び事業所の方々に、「ごみ袋の購入費」としてご負担いただくという趣旨で、東京都26市のうち22市で実施しております。また、ごみ袋を有料とすることで、一人ひとりがごみの削減に努め、少しでもごみ量の抑制につながることも期待しております。 今後ともごみの減量・分別にご協力いただきたいと思います。
12	交流	イベントなどで、吉祥寺の地域の方と外から来た人々とが交わる機会があればいい	吉祥寺では、商業者が中心となって「吉祥寺ウェルカムキャンペーン」や「吉祥寺秋まつり」といったイベント・行事を開催しています。また、個々の商店会が、夏まつりをはじめとした地域に根ざしたイベントを行っています。地域住民だけでなく来街者にも楽しんでいただけており、学生ボランティアが運営に関わるなど、イベントを通じて様々な交流が進んでいます。 市内の催しについては観光機構がホームページ等でご案内していますのでご参照ください。
13	環境浄化	吉祥寺駅周辺の客引きが迷惑。	客引き防止対策として、市で運営しているパトロール隊「ブルーキャップ」が巡回をしているほか、市と警察、市民が合同でパトロールを実施して、執拗な客引きに対して指導等をおこなっています。また、市と商店会で、「まちの雰囲気を変えず、市民や来街者が嫌な思いをしない」ために、「まちの人たち」で作るルールについて協議をしています。
14	コミュニティ	ニュースなどでよく取り上げられていることだが、地域の人同士の親交がなくなってきているという課題があると思う。	武蔵野市には、全市を網羅するような町会や自治会がありません。コミュニティ活動においても、市民の自主性及び主体性を最大限尊重する考えから、地域のボランティアで組織される16のコミュニティ協議会が、自主参加・自主企画・自主運営による施設運営を担い、市民のための多目的施設であるコミュニティセンターを中心とした各地域のコミュニティづくりを進めています。 また、新たな取り組みとして、誰もが自由に参加でき、地域で解決すべき課題について共有し、解決に向けた話し合いを行う「地域フォーラム」も始まっており、このような日頃の積み重ねが地域の力となり、これからの時代にふさわしいコミュニティづくりに結びつくと考えています。
15	医療	高齢者が増えていくということで、病院の数が足りているのか気になる。	武蔵野市内には、高度急性期病院としての武蔵野赤十字病院をはじめ、9病院1,168床があり、他市に比べて充実していると言えます。今後の高齢化に伴う病院機能の確保と充実に関しては、「武蔵野市地域医療構想2016(案)」に基本的な考え方を記載し、都や関係機関との調整を行うなど、市が一定の関与をしていくことを検討するとしています。

3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想を掲載しています。)

◆参加者の感想	
1	現役の市長と話ができて、とても貴重だった。日頃から、まちの何気ない所に目を向けたい。
2	時間が足りないくらい充実したものになりました。
3	なかなか市長とお話しする機会がないと思います。とても貴重な時間で、また参加したいです。市長が気さくな方だったのが一番印象的でした。
4	グループで意見をまとめるところから、発表、質問という段階までとてもスムーズで発言しやすい雰囲気でした。今回の取組みが互いにプラスに働いてくれたらいいと思います。
5	発言しやすく、知らなかった現状や政策を沢山知れた。
6	市長と直接意見交換できたことは、すごく良い機会でした。ありがとうございました。市長の考え・方針が知れて良かったです。私の地元でもこのようなミーティングがあるといいなと感じました。
7	市長と意見交換するという貴重な機会を頂けたことに感謝しています。市長のお話はとても新鮮であり、私は他県からの参加ですが、武蔵野市の現状を詳しく知ることができました。
8	実際に市長の話を聞くことで武蔵野市を知ることができた。
9	グループワークのときに市長にコメントをもらえて、それが場を盛り上げていたので、次回からも市長に見回っていただけるとよいと思いました。



武蔵野市長と直接語ろう！

今回は学生限定

第66回 市民と市長のタウンミーティング

テーマ

「10年後に住んでよかったと思える
武蔵野市・吉祥寺を考える」

日時 11月9日(水) 19:00~21:00

場所 武蔵野商工会館5階 第1第2合同会議室
(武蔵野市吉祥寺本町1-10-7)

*当日、直接会場にお越しください。

主催：武蔵野市

協力：成蹊大学

学生ボランティア本部 Uni.

お問合せ：武蔵野市市民活動推進課

TEL：0422-60-1829

FAX：0422-51-2000



第 66 回

市民と市長のタウンミーティング〈学生〉

【テーマ】10年後に住んでよかったと思える武蔵野市・吉祥寺を考える



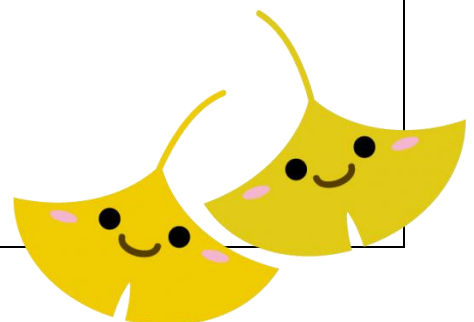
テーマを考えるヒント

- ☆10年後の自分って、どこで何をしている？ 仕事は？ 家族は？
- ☆10年後にも残したい、武蔵野市・吉祥寺の〇〇〇
- ☆他のまちと比べた、吉祥寺のよいところ、悪いところ

吉祥寺の魅力を拡散！ 外国人や観光客から見た吉祥寺
めざせグローバル化 人口知能でまちが変わる？
まちの景観はどうなる？ 10年後に起きる社会問題って

視点はいろいろ。学生ならではの自由な発想で、楽しく話し合しましょう！

当日参加できない方、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、
下記枠内にお書きになり、市役所7階 市民活動推進課、または各市政センターに
お届けいただくか、FAXで市民活動推進課（0422-51-2000）にお送りください。



第66回

テーマ別
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成29年2月
武蔵野市 市民部 市民活動推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話(0422)60-1829 (直通)